



▲留萌高校吹奏楽部員に音楽指導する谷さん(左から1番目)

オロロンライン・ミュージック・サポートクラブは、ジック・サポートクラブは、音楽を通じたマチづくりを目的として市内外の市民吹奏楽団員や音楽活動家が集まり、平成22年3月に設立されました。

その後、第1回記念演奏会を皮切りにコンサートや音楽イベント、講演会などを開催し、音楽を通じた交流の輪を広げています。

代表の谷龍嗣さんは「設立した当時の留萌は、音楽に触れる環境や文化を発信する環境が、まだ整備されていない状態でした」と振り返り、「活動を進めていく中で、少しずつ人と人とのつながりが深まっている

と感じています。音楽の楽しさをたくさんの方に感じてもらいたいですね」と語っています。

25年から中高生を対象にした管楽器講習会を開き、青少年の健全育成にも積極的に取り組んでいます。「講習会では、札幌交響楽団員を講師に招いています。子どもたちがプロの音楽家の技術に直接触れることで、技術の修得だけにとどまらず、人間形成の場となってくれると嬉しいですね」と話しています。

また、谷さんは活動の一環として、留萌高校吹奏楽部員に音楽指導を行っています。「後輩たちには楽し

みながら、頑張ってもらいたい」と思っています。後輩たちも含め、たくさんの子どもたちに夢や希望を抱いてもらいたいですね」と笑顔を見せていました。

「『おもいやり・おもてなし』は、どちらも人と人との触れ合いやつながりが肝心で、相手の考えや思いに耳を傾け、自分にできることを行い、それに応えていくことがとても大事なことでと思います」と話してくれました。

◇

オロロンライン・ミュージック・サポートクラブの活動については、下記までお問い合わせください。

音楽を通じたマチづくり 人と人との触れ合いが肝心

オロロンライン・ミュージック・サポートクラブ



オロロンライン・ミュージック・サポートクラブ
谷 龍嗣 さん